

事業所名: ライフケア大手門

作成日: 令和2年 10月 26日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		法人の理念を大切にすると共に、ホームの理念は2019年度に見直しが行われた。2020年春に職員も新体制になり、今後もチーム全員が同じ方向に進む事ができるよう、職員全員が理解できる理念の見直しを行う予定である。	スタッフ全員が理解出来る理念を掲げることが出来る。	各スタッフは勤務開始時に理念を確認する。また理念を深めるため、六ヶ月毎に話し合いの機会を設け、スタッフが新たに大切にしていきたいことがあれば追加をしたり、必要に応じて表現を変えたりする。チームが丸となって同じ方向に向かうようにする為の理念であるようにしていく。	12ヶ月
2		コロナ禍においては、地域の方とビデオ交流する機会を検討したり、コロナ収束後は、ホームの職員が地域の方に認知症の啓発活動を行うと共に、地域の方々を招待し、一緒に脳トレや体操等を行う機会を作っていきたいと考えている。	地域との交流が持てる。	運営推進会議等に位置付け、地域・家族の方も参加が出来る機会を企画する。コロナ禍においては、日頃関わりがあった方々と、いつもと違う形でも関わりが途切れず交流を続けれるようにする。認知症サポーター養成講座やラン伴などを通して、認知症を地域に啓発する。	12ヶ月
3		今後は更に、入居者の方々に職員が教えて頂きながら、漬物や味噌作り、梅酒作り、おはぎ作りなどを楽しむ機会を作っていきたいと考えている。	入居者の得意な事や、馴染んだ文化を教える場をもてる。入居者が主導となり、皆で楽しめる空間ができる。	入居者に得意な事や馴染みの仕事を尋ね、レクリエーションとして企画する。内容によっては、習慣化させ、ホームの生活の一部に位置付けていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月